



1.

君と過ごしたい夜を

幾つも待った

君を恋しく想った数だけ

歌を作った

ここではもう逢えない君へ。

恋する歌

ある小説を読んで浮かんだ詩です。

ここで言う「歌」は詩のことですが、
どう捉えてもらってもいいかもしれません。

言葉だったり心の中の想いだったりしても
ロマンチックだと思います。

そして、「ここでは」の意味は
現世では、という意味です。

どうか皆様、伝えておきたい気持ちは後回しにせず、
伝えれるその時に、伝えてください。

2.

苦い台詞を聴くたびに

甘い貴方も思い出す

彼が言った。

「嫌なことは嫌って言え！」

それが出来ない人もいるのに、
と云いそうになった言葉を飲み込む。

黙ってる私に彼は、

「そんなんやったら二の舞やぞ」

私の苦い思い出の事を言っているのだ。

あの時この人は、
泣いている私に、理由も聞かず傍に居てくれて
泣き止んだ時に優しく話を聞いてくれた。

厳しい言葉の裏を知る度、
優しい彼の想いが感じられて、

微笑してしまったら、また怒られました。

3.

いつでも逢えると云う貴方を

信じたのは私

温もりを感じた夜に

虚しさを抱いた今日も

貴方を信じたのは

強さで固めた中の弱い私

二番手

これは色々な感情を生むかもしれません。

浮気相手や、不倫相手の詩です。

知人や友人の中にもそんな人たちがいました。

話を聞く度に悲しくなって、
やめとき！と言いながらも
その人が幸せなら・・・と綺麗ごとを並べた時もあります。

持論でしかありませんが、
誰も幸せになれない気が、今はします。

なかなか連絡が取れなくても、
不安になってもまた会えると思ってしまうのは
好きという想いがあるから。

その想いが、この人たちの心を
強く固めてしまうのです。

4.

過ぎる時間を

ただ君の為に想う

今日一日の愛を

記念日

たった一度の記念日は
二人にとってもかけがえのない一日です。

私はホールケーキを作る。

そう決めて、記念日の前日にスーパーへ向かいました。

ブルーベリーと、イチゴと、小麦粉も要るし、
紅茶のスポンジにしたいから茶葉も・・・

予定していた2倍ほどのお買い物をして、
頭の中でデコレーションを考えながら帰りました。

昼過ぎから作り始め、
完成したのは夜の9時過ぎ。

ケーキを冷蔵庫に入れ、
彼の驚く顔を思い浮かべながら
彼に手紙を書きます。

今までと、これからと。
その想いを綴ったら気付きました。

今日は彼の事しか考えていなかったな、と。

記念日当日は、これ以上でしょうか。

5.

同じ道を歩いた今日

僕には君が映ったまま

何度目を瞑っても

歩幅を大きくしてみても

僕だけがまだ

過去に居る

君との路

綺麗な秋の紅葉が
古いレンガ調の道を彩ります。

ずっと前にも、綺麗だと思った季節があった。
一緒に歩いたあの人は、
もう手を握り返してはくれない距離にいる。

何度思い出さだろう、
歩く足音も振り返る笑顔もすべて

この道を通ると
昨日のように蘇る。

6.

慣れない指にネイルを

傍に置いたこともないスカート

初めて付ける香水に

何度も躊躇った髪型

私の精一杯で向かう。

あなたとキスをするために

そのための準備

女の子だったら、
恋をしたら一度は必ず思うと思う。

好きな人に、「かわいって思ってもらいたい」

そんなことに全力投球します。

会って可愛いと思う女の子に
男の人はキスをしたくなるものでしょ？

そう思ってもいいでしょ？

7.

歩く歩幅を合わせて想うよ、

優しく愛してくれる君が好き

優しい歩幅

ある日の飲み会で、
私は少し悪酔いしてしまい、
30人以上居る参加者の群れから少し遅れて
トボトボと歩いていました。

落ちる視線には私の無気力に歩く足、

そして斜め上の方から見える、
群れから抜けてくる大きな靴が
私に向いて止まっている。

地面を見たまま私は進みます。

その大きな靴と並びます。

そして、歩幅を合わせて歩いてくれます。

群れを外れてから初めて顔を上げると
笑顔で「大丈夫？」と言った、

その人に、甘えたくくなりました。

8.

何とも思っていない心で

好意を見せないで

分かっているけども

私は背を向けていられない

片恋の罨

好きな人に、想いを気付かれ、
これほど後悔したことはありませんでした。

彼は何とも思っていないのに、
私に言い寄ります。面白そうに。

やめてください、そう言いながらも
舞い上がる私の馬鹿さ加減を恨みたい。

9.

ありきたりな幸せを

幸せと思わせてくれた

世界で君だけが愛しいよ

赤い糸というのは、
信じてもいいのでしょうか？

半信半疑ながらも
その存在を探してしまう自分がいます。

幸せだと思うと、好きだな、と思うと、
この気持ちを与えてくれた人に
抱えきれない程の愛情をあげたい。

極論は、そういう事です。

10.

あなたと笑った日々を

無理に消そうとしても

違う誰かを隣にしても

何かの拍子に思い出す

後悔の想いも

きつとこれから感じよう。

離れた手の、正解を

進む手

後悔に引き摺られる事もあると思います。

別れを告げたその時からそれは募って、
でも時々思い出してみる。

手を離れた時の気持ちを。

なぜそうしようと思ったのかな？

また蘇るモヤモヤ。

この選択が正解だったことに
納得するのはもっと先になるのでしょうか。

11.

やっと繋がった想いに

浸されていく毎日を

どのくらい歩けるのか

その不安さえも

今は止まらない

不安の橋

二年間片思いだった、
好きになった人に告白して、
やっと付き合えた。

一緒にいても緊張して
会話の内容が聞き取れようになるのは
家に辿り着いてから。

笑顔が上手く作れない
こんなに嬉しい筈なのに。
あなたの顔が見れない。
こんなに合いたい筈なのに。

近くにいる間も、
離れている間も、
思う気持ちが全ての邪魔をする。

きっと呆れられるだろう
きっと愛想を尽かすだろう
きっと別れを告げられる

やっとの思いで繋いだ細い細い橋、
いつ崩れてもおかしくはないよね。

ただ今は、それだけが怖い。

12.

こんな風に好きだったんだ

そう思った瞬間に

気持ちごと消されていく跡

想いの果て

ずっと付き合ってきて、
我慢してきて、
好きだから我慢してきて、

自分の中の気持ちに気付かない様にして、
相手を怒らせないようにして、
機嫌とって、

毎日が恋じゃなくなる。

好きという想いも
今は感じなくなってる。

人としても男としても好きじゃないなら、
今何故一緒にいるのかな、

今までの思い出は嘘じゃないけど、
この想いが終わっているのも
嘘じゃない。

13.

会いたい

ずっと今も想ってるよ

あの頃に云えてたら、

離れなければ、

あなたの傍で

この季節も過ごせただろうか

阿呆な友人がいました。

大好きな人に何も言えず、
冷たく当たってしまって、
優しい彼に甘えていました。

度を超す彼女の態度に
彼はとうとう別れを告げ、
音信不通になり、
彼女はその時全てを後悔しました。

何ヶ月も彼を引き摺り、
何度も何度も言いました

あの時こう言えば良かった
ああすれば良かった

少しの言葉でも良かったのかもしれませんが。

きっと一言で伝わることもあったから。

今は彼女も新しい人と幸せに笑ってます。

あの時のことは苦い思い出ですが、
時々、この詩のように思うそうです。